

# 国際政治

119

## 国際的行為主体の再検討

日本国際政治学会編

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 序 国際関係における行為主体の再検討           | 大 芝 亮       |
| 連邦制と行為主体の多様化                 | 正 躰 朝 香     |
| ブリティッシュ・コロンビア州とアジア・太平洋関係     | 末 内 啓 子     |
| 東アジアのエスニック・トランスナショナル・アクター    | 宮 島 美 花     |
| 国際レジームにおけるNGOアクター            | 宮 脇 昇       |
| 多国間安全保障メカニズムのなかの第二トラック外交     | 重 政 公 一     |
| 企業と国際貿易ガバナンス                 | 大矢根 聡       |
| 国際消費者問題と消費者運動の資源動員           | 境 井 孝 行     |
| 米国の民主化支援におけるQUANGOの役割        | 大津留（北川） 智恵子 |
| 開発援助を通じたNGOの途上国政府への影響力       | 勝 間 靖       |
| NAFTAをめぐる米国環境NGOの対応          | 横 田 匡 紀     |
| <hr/>                        |             |
| 象牙取引規制レジーム：知識・言説・利益          | 阪 口 功       |
| 日独青島戦争の開戦外交                  | 斎 藤 聖 二     |
| <hr/>                        |             |
| <書 評>                        |             |
| 納家政嗣、ウェッセルズ編                 |             |
| 『ガバナンスと日本——共治の模索』            | 田 所 昌 幸     |
| 森川純著                         |             |
| 『日本とアフリカ』                    | 川 端 正 久     |
| タラス・クジョー著                    |             |
| 『ウクライナの安全保障政策』               | 末 澤 恵 美     |
| 猪口孝、ピーター・グレビッチ、コートニー・プリントン編著 |             |
| 『冷戦後の日米関係——国際制度の政治経済学』       | 古 城 佳 子     |
| ドン・オーバードーフアー、菱木一美訳           |             |
| 『二つのコリア——国際政治の中の朝鮮半島』        | 倉 田 秀 也     |
| 力久昌幸著                        |             |
| 『イギリスの選択——欧州統合と政党政治』         | 児 玉 昌 己     |
| 平間洋一著                        |             |
| 『第一次世界大戦と日本海軍——外交と軍事との接続』    | 村 島 滋       |

1998年10月刊